

2026 年 3 月 21 日

当院アンチエイジング外来を受診された患者様へ

「当院アンチエイジング外来に通院する糖尿病合併フレイル症例の長期転帰：
後ろ向き観察研究」における研究協力をお願い

リハビリテーション技術部では、過去または現在に下記のような治療を受けた患者様の試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

① 研究の対象

中部国際医療センターで基本チェックリスト(25 項目)にて 4 項目以上該当しフレイル・プレフレイルと判定されアンチエイジング外来に通院されている方のうち糖尿病を有している患者様。

調査対象期間

2022 年 1 月 1 日～2026 年 1 月 31 日

② 研究の期間

研究実施許可日～西暦 2027 年 3 月 31 日

③ 研究の目的・方法

当院ではアンチエイジング外来として、基本チェックリスト(25 項目)にて 4 項目以上該当しフレイル・プレフレイルと判定され、希望があった患者様に対し月 1 回、医師、保健師、管理栄養士、理学療法士による包括的なフォローをさせて頂いております。2022 年 1 月～2026 年 1 月にアンチエイジング外来に通院されている方のうち糖尿病を有している患者様を対象とします。なお、本開発に使用するデータに管理については、当院の倫理規定に準じて行い、全て匿名化された既存データのみを使用して調査を行い、個人が特定されることはありません。研究方法としては、診療の一環として実施されている初回および定期評価(最大 3 年まで)の記録をカルテ等から抽出し、身体機能、栄養状態、体組成、認知機能等の指標が時間の経過とともにどのように変化するかを解析します。これにより、外来通院の継続の中で機能の維持・改善に関連する要因を整理し、糖尿病患者様におけるフレイル予防および適切な管理に役立つ知見を得ることを目的としています。本研究で得られた結果は、今後の外来での評価や支援の質の向上につながり、フレイルの進行予防や健康寿命の延伸に資することが期待されます。

④ 研究責任者

莊加 克磨 所属 中部国際医療センター リハビリテーション技術部

⑤ 共同研究者

井手上 元気 所属 中部国際医療センター リハビリテーション技術部

田中 祐輔 所属 中部国際医療センター リハビリテーション技術部 主任

松岡 伸幸 所属 中部国際医療センター リハビリテーション技術部 課長

高見 和久 所属 中部国際医療センター 糖尿病センター長、内分泌代謝内科 部長

研究への参加辞退をご希望される方へ

本研究に関して新たに患者様に行って頂くことはありません。また、ご自身に新たに費用が発生することはありません。本研究に関する質問等がありましたら、以下の連絡先までお問い合わせください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には、研究の対象といたしませんので、以下の連絡先まで申し出ていただけますようお願いいたします。なお、本研究は中部国際医療センター医学研究等倫理委員会の承認を得ております。また、この研究の参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当病院における診療・治療において不利益をこうむることはありません。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び研究施設に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりうる利益相反」は存在しません。

連絡先

中部国際医療センター リハビリテーション技術部 リハビリテーションセンター

電話番号 0574-66-1100（内線 3300）

責任者氏名：荘加 克磨